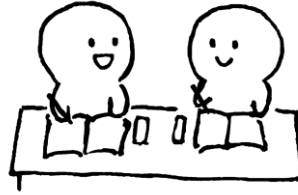


進路たより



～11月には実力テスト～

さて、中間考査が終わったばかりですが、早くも11月15日(金)には実力テストがあります。事前学習用として配付されるワークブックで試験勉強をして本番に備えてください。実力テスト、3年生に上がったからの進路決定で非常に重要な資料となります。

就職については、「**評定平均:実力テストの平均点=2:1**」の割合で **校内選考用の点数が決まります**。また、**指定校推薦(大学・短大・看護)**の校内選考でも**重要な資料**になります。自分自身の進路選択の事を考えて実力テストに挑むようにしてください。

○検定、セミナーが盛りだくさん

2学期は日商簿記、珠算電卓、英語…様々な検定やセミナー、補習が控えています。積極的に資格取得にむけてチャレンジしてください。就職や進学に有利なことはもちろん、苦労して資格を取得した経験は、新しい気づきや学び、自信にもつながります。

～高校生活で身につけること～

皆さんが高校生活で身につけることはたくさんあります。普段の日常生活、授業、部活、行事などさまざまな場面で、次のようなことを意識しながら取り組んでいきましょう。

挨拶 (人とのコミュニケーション)

計画性 (約束や期日を守る)

礼儀 (御礼や謝罪・親しき仲にも礼儀あり)

協力する力 (周りの人と協力する・気配りができる)

小論文達人 入門編

総合型選抜・学校推薦型選抜による入試では、ほとんどの大学で小論文が出題されます。そして、山商生が最も苦手にするのがこの小論文です。今号からシリーズで小論文に関する情報を掲載していきます。

小論文とは？

小論文は、提示された課題に対して「**自分はそれについてこう考える**」と自分の意見を述べ、「**なぜそう考えるか**」という理由を論理的に筋道を立てて説明し、**相手を説得する**ものです。ただ、自分の思いや出来事を紹介すればよい作文とは異なるので事前準備が必要です。

合格の決め手は小論文！

難関大学ほど全国から優秀な人たちが志望してきます。多くの受験生が高い評定と多数の資格持っています。そのため、評定が高い・資格を持っている、だけではスタートラインに立ったに過ぎません。他の受験生と差をつけ、合格を決めるためには小論文が重要になってきます。

3つの「ごんべん」パワーと興味・関心

① 3つの「ごんべん(言偏)」を備えよう

小論文を書くために、必要な3つのパワー。それは「知識」「読解力」「語彙力」の3つです。

- ・知識とは … めざす学問分野に関する知識です。
- ・読解力とは… 読む力、つまり課題文の主張を理解して要約する力 のことです。
- ・語彙力とは… 相手を説得するために、自分の考えを最適に表現する言葉を駆使する力 のことです。

② 興味・関心

自分が進んでいく学問分野について関心を持ちましょう。新聞やテレビなどのニュース、身のまわりの出来事、自分自身の体験など、さまざまなことに興味を向けてみましょう。そして、それらのことをよく観察し、問題点や課題があれば、どうしていけば良いのか、自分なりの考えや意見を持つこと。また、自分以外の人はどのように考えているのかもインターネットなどで調べてみましょう。そうすることで、自分だけのネタがストックされていくように取り組んでいきましょう。

< 当面の日程 >

11月10日(日)	ビジネス計算実務検定
11月13日(水)	進路講話(2年)
11月15日(金)	実力テスト(1・2年)
11月17日(日)	日商簿記検定
11月24日(日)	ビジネス文書検定
12月 2日(月)	期末考査
～6日(金)	

